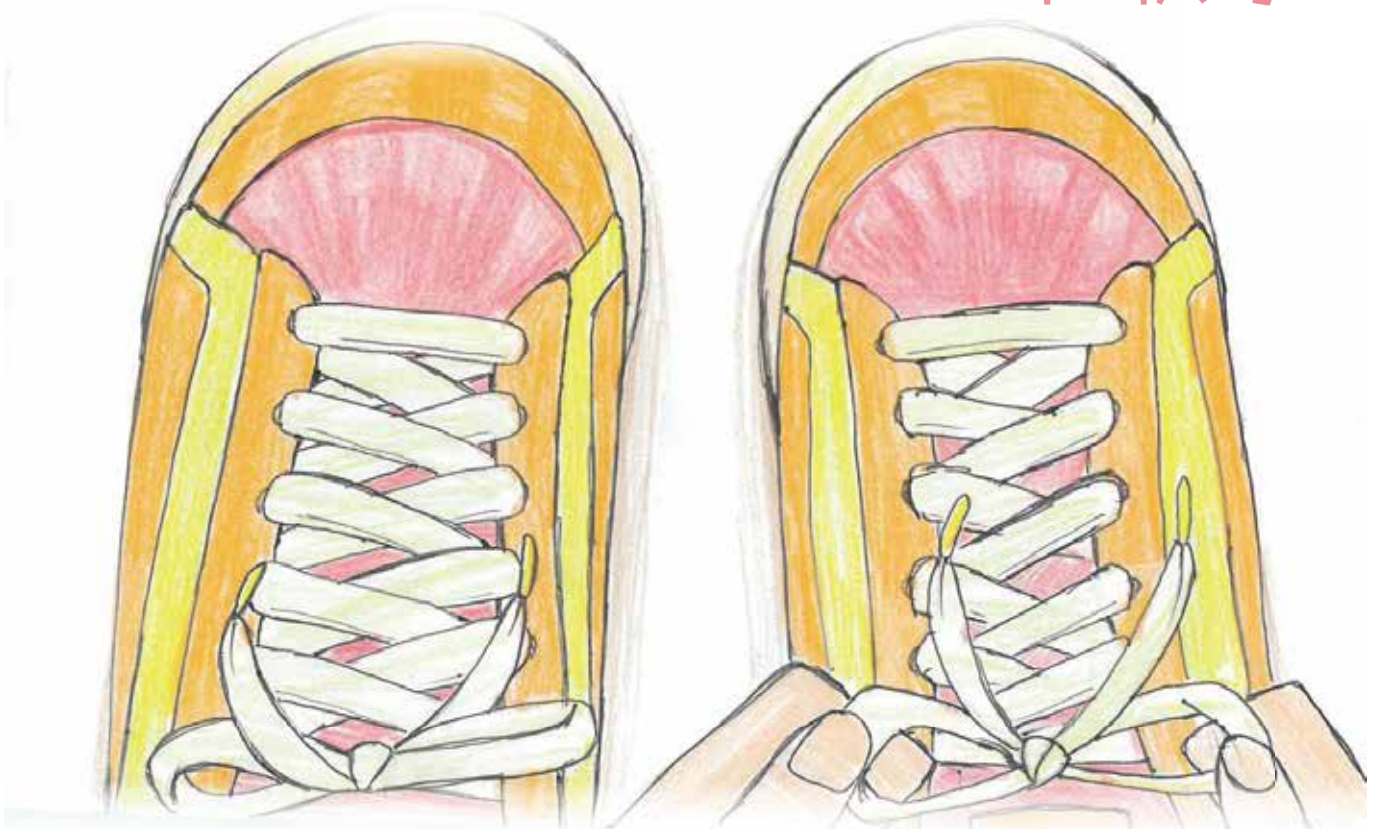


ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

イコウ IKOU!

2023年 秋号



第3回イコウ!イラストコンテストイコウ大賞受賞作品「いってきます」(作:Rさん〈フィン香椎駅前〉)

【巻頭特集】

元気で、明るく、たくましく、障がい者雇用の未来をけん引

(株)日立製作所特例子会社

(株)日立ゆうあんどあい 会社訪問インタビュー

就労支援の「人」

前厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課長

厚生労働省 福岡労働局長 小野寺徳子氏

いこう!就労移行支援事業所へ

ワクワクいっぱいのクリエイティブ事業所一ソース(堺東・三国ヶ丘)

第3回イコウ!イラストコンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

“この木なんの木元気の氣”

元気で、明るく、たくましく、 障がい者雇用の未来をけん引

(株)日立製作所特例子会社 **株式会社日立ゆうあんどあい**

会社訪問インタビュー

※企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。

大手総合電機メーカーであり、「この木なんの木元気になる木」で有名な株式会社日立製作所（以下、日立）。その特例子会社であり、日立グループの一員として障がいのある方々がイキイキと働いているのが株式会社日立ゆうあんどあい（以下、日立ゆうあんどあい）だ。日立ゆうあんどあいでは「元気で、明るく、たくましい障がい者を一日でもより長く雇用すること」を目指しており、実際に、多くの方々
が長期間定着して活躍しています。ここでは、組織の風土文化や社員の皆さまの活躍や定着を支える支援スタッフの方々の考えなどについて、インタビュー形式でお話をお伺いしました。

貴社の成り立ちについて教えてください。

〈大岩社長〉

当社があるこの場所は、以前は日立製作所横浜工場と呼ばれていました。古くはカラーテレビを製造していた場所です。私たちは、ここで多くの日立グループ各社と共に日々元気に明るく仕事をしています。当社が設立されたのは1999年。主に知的障がい者の雇用創出を目的としました。もっ



(株)日立ゆうあんどあい
代表取締役社長
大岩一郎さん

とも、日立グループでは当社設立前より障がいのある方を雇用していたのですが、身体障がいの方が主だったのです。時勢もあり、知的障がいのある方に対する雇用の必要性も高まってきた為、特例子会社として新たに設立されたのです。

そして、2020年と同じく障がい者雇用に取組んでいた日立グループの特例子会社、(株)サンシャイン茨城と(株)ビルケアスタッフと統合され、現在の形になりました。そのうち(株)サンシャイン茨城は、茨城県下で歴史があり、長く障がい者雇用をけん引してきた（社福）自立奉仕会茨城福祉工場より業務をひきついでできた会社です。

組織の風土文化について教えてください。

〈横山主任〉

「思いやり」だと思います。それは障がいのあるなしに関わらず、また単に「人に優しく」ということだけではなく、「お互いにお互いを理解していこう」ということです。

株式会社日立製作所について

- ◆ 所在地（本店）：〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号
- ◆ 創業：明治43年（1910年）
- ◆ 資本金：461,731百万円（2022年3月末現在）
- ◆ 従業員数：29,485名（2022年3月末現在）
- ◆ 連結従業員数：368,247名（2022年3月末現在）

<https://www.hitachi.co.jp/>



「日立の樹」で有名なモンキーポッドの木（ハワイ）



株式会社日立ゆうあんどあい
 業務統括部 採用定着支援部 部長 小谷直美さん(右)
 採用定着支援部 採用定着支援課 主任 横山香さん(左)

さらに言えば、お互いのことを知っているだけでも、思いやりになると思います。

当社の社員は日立グループの社員や来訪される多くの方々に対して元気に挨拶をします。「自分たちがここにいて、元気に働いている」ということを胸を張って伝えているのです。自分たちを知ってもらおうということの一環として、アビリンピック※への出場もあります。当社の出場者は毎年輝かしい成績を収めています。これには共有スペースを練習スペースとして使うことを了承してもらっているなど、日立

グループの皆さんの協力もありません。これも、思いやりがあつてこそではないでしょうか。

〈小谷部長〉

当社では気持ちの良い挨拶をしよう、という「オアシス運動」や「コミュニケーションを大切にしよう」という「ホウレンソウ(報告・連絡・相談)」を推進しています。提供サービスである社内清掃や社内郵便業務などで、日立グループの社員は一生懸命働く当社の社員と接します。この時に、良い影響を受ける方々も少なくありません。

※障がいのある方々が、日頃職場などで培った技能を競う大会

例えば、今までしていなかった挨拶をするようになったグループ社員も多いです。障がい者雇用の本当の目的は「人の心を豊かにするきっかけづくり」なのだ、このような事例を目の当たりにするとあらためて思います。

また、清掃業務などで心地よさを提供していますが、今後は「癒し」の提供もできたらいいな、と考えています。例えば、在宅勤務のグループ社員に、プランターで育てた花などを贈ることができたら、とても素敵ですね。

働く場所の多さについて教えてください。

〈大岩社長〉

当社の特徴の一つとして、「拠点分散型」ということがあり、活躍する場所は1都1府7県の計122拠点あります。多くの日立グループの会社の点在する拠点で清掃業務をはじめとした様々なサービスを提供しています。

また、障がいのある方を雇用したい日立グループの会社に障がい者雇用コンサルティングのようなことも行っており、必要に応じて業務

の創出からアドバイスもしています。今後も日立グループ各社において、活躍できる障がい者人材を増やしていければと考えています。

〈横山主任〉

ただし、「仕事はないけれど、障がい者雇用率の兼ね合いで障がい者雇用がしたい」というような事業所には雇用支援はしません。割り当てられる仕事が必要です。ただ座っているだけ、では決してイキイキ働いているとは言えないですからね。

社員の長期間定着の秘訣を教えてください。

〈大岩社長〉

当社には、数十年に渡って活躍してくれている社員もいます。できるだけ長い間活躍してもらうために、一人ひとりの障がいの特性と個性を把握し、そこに沿って合理的配慮を提供し、モチベーションのケアをきめ細かく行っています。特に障がい者就労支援センターなどの支援機関、家庭との連携が不可欠であり、トラブルには早期の対応に努めています。

周りの人の心を豊かに

日立ゆうあんどあいの風景①

社員同士のコミュニケーションを推進するため、月1回の「社員研修」や全員が参加する年2回の「ふれあい行事」を実施しています。



全国アビリンピック大会出場



社員の目標発表



グループ観光



クリスマスパーティー

あいの業務内容



労働管理オペレーション

時間外労働が制限時間に近づいた人へメールをします。



返信レポート受取窓口

お客さまが返信したレポートの仕分けを行います。



コースター製造

紙すきでコースターを製造し、イラストを加えます。



自動車部品製造

エンジン部品及びステアリング部品などを製造します。



文書電子保存化

各種書類をスキャナーでPDF化して保存します。



マッサージ

国家資格を持ったキーパーが施術をします。



自動車部品検査

異常部分を部品から除去し、不良発生を防ぎます。



携帯通信機器申請受付

会社貸与の通信機器の契約に関する事務を代行します。



ソフト開発

ソフトウェアを使ってソフトウェアを開発します。



会社創設時の関係者の期待と熱い思いが詰まった看板。裏側には創設に関係した会社幹部および第一期生社員の氏名が明記され本社玄関に常に掲げられています。

〈小谷部長〉
社内環境の改善にも社員は積極的に、「べつすればもっと働きやすくなるか」などの提案を募集する

加えて、就労定着支援機関などと連携したアフターフォロー体制を入社時から構築し、一人ひとりの就労に対する課題に対応しています。さらに、障がいのある方が業務を遂行しやすいよう、工夫された治具もあります。もともと日立でカラーテレビやコンピューターをつくっていたような技術者が障がい者が使いやすいようにと製作したのですが、これは親会社でメーカーであることならではありません。

〈横山主任〉
「安全と健康は全てに優先する」を基本に、社員の安全衛生対策を行っています。社員の体調が悪い時などは、もちろん支援に回りますが、一つだけ条件があります。それは、「SOSを自力で発信できること」です。入社時に、調子が悪い時にサインを自分でつかみ、SOSを出すことができるかを確認します。そうすることで、何か問題が発生した時に対応の遅れを防止すると共に、社員自身が自己管理のことも身に着けてもらっています。

と多くの案が集まります。先に大岩がお話したようなハード面での工夫も当社の自慢ですが、ソフト面の働きやすさも自慢なのです。
定着率が高い理由として、「リフレックシユ異動」も挙げられます。例えば職場において、どうしても人間関係がこじれてしまう場合などがあります。そのような時は、1、2か月間程正式所属はそのまま、「お試し」で職場異動をすることが可能です。これは、当社が拠点分散型だからこそそのメリットだと思います。環境を変えれば、あらためて力を発揮できるようにになる方は多いですからね。

「べつすればもっと働きやすくなるか」を追求

日立ゆうあんどあいの風景②

社員の定着を図るために、指導員教育にも力を入れています。



全体業務向上会議



スキルアップ研修



地区別事例研究研修



拠点業務向上会議

障がい者雇用を通じて新しい価値を生み出したい



■ オフィス清掃

「トイレ」、「廊下」、「階段」、「会議室」を主に清掃します。



■ シュレッダー処理

機密書類を紙の原料になるパルプ状に処理します。



■ 緑化

構内の清掃を行い気持ちよく働ける環境を作ります。



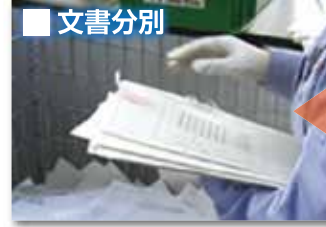
■ 社内郵便集配

大切な書類や個人情報などを扱う仕事です。



■ 庶務補助

消耗品補充や廃棄書類回収など様々な業務があります。



■ 文書分別

機密書類をリサイクルできるように分別します。



■ 寮清掃

心と体ガリフレッシュできる空間をつくりだします。



■ 食堂補助

社員食堂のランチサービスに関わる仕事です。



■ 事務補助

保管書類の電子化やレシート整理などを行います。

〈小谷部長〉
 ダイバーシティやインクルージョンといった意識が社会全体で高まってきていますが、障がい者も健常者も一緒になって輝ける共生社会づくりのお役に立てればと思います。
 誰もがイキイキと《幸せな働き方》が出来るようにハード・ソフト両面の環境を整え、全ての社員

今後の展望について教えてください。
 〈横山主任〉
 まずは、日立グループの中で各社に障がい者雇用の見本をしっかり示していきたいと思っています。その次は、社会全体に対しても障がい者雇用の見本となっていけるよう、取り組んでいければと考えています。
 そして、ゆくゆくは障がい者がある意味特別扱いするような特別子会社という制度自体が必要なくなっていく時代を迎えられたら良いと思います。だからこそ、障がい者雇用や定着ノウハウなどは出し惜しみすることなく、様々な障がい者雇用企業の皆さまと情報交換などをしていきたいです。



取材当日は、就労移行支援事業所6箇所を経営しているテイクハートグループの河西美香統括サービス管理責任者も同席してくれました。

〈大岩社長〉
 現在、日立グループ全体ではダイバーシティやインクルージョンという考え方が重要視されていて、新しい価値を生み出す為にこれに本気で取り組まなければならぬと議論をされています。例えば、製品を生み出す最終工程にて障がい者の視点を加えることで、より多くの人々にとって有用なものになります。日立グループのこの動きの中で、雇用のみにとどまらず障がい者分野において中心的な立場を担っていきたくと考えています。

に《働く喜び》を感じてもらえるようにする為、我々スタッフの存在があるのだと思います。

株式会社日立ゆうあんどあいについて

- ◆ 所在地（本社）：〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
- ◆ 設立日：1999年10月1日
- ◆ 社員数：597名【内訳：知的障がい者344名／精神障がい者63名／身体障がい者40名／指導員・本社スタッフ162名】
- ◆ 売上：2,120百万円（2021年度）（2023年4月1日現在）
- ◆ 名前の由来：「友あんど愛」=「友情と愛情」／「YOU あんど I」=「あなたと私」

<https://www.hitachi-youandi.co.jp/>





いこう! 就労移行支援事業所へ!



各自が集中できる個別ブースも完備されている、堺東の訓練スペース。この日は、利用者さんがストレッチでリフレッシュ。



当機構（社会福祉支援研究機構）の加盟事業所表彰において、優秀事業所表彰を受賞（昨年度）。



今回取材に応じてくれたソース堺東の佐古順子サービス管理責任者（左）と杉本智基生活支援員（右）。

<今回お伺いした事業所>



ワクワクいっぱいのクリエイティブ事業所

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこには事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

事業所名に込められた想い

日本に初めてキリスト教を伝えたことで有名なフランシスコ・ザビエルが立ち寄ったとされ、「ザビエル公園」などの名所がある大阪府堺市にて二拠点展開しているのがソース堺東と三国ヶ丘だ。事業名を聞くと、誰しもが気になるであろうその由来について、堺東の佐古さんが教えてくれた。

「堺東が開所したのが2017年。その1年後に三国ヶ丘が開所したのですが、事業所名は代表を含む初期メンバーで決めました。調味料のソースではなく、『源』という意味であり、『利用者さんお一人おひとりが源、あなたの力がみんなの力になる』という意味が込められています。

同じく堺東の杉本さんが続ける。「私は人生は自分の味付け次第でどうにでもなる、そのソース作りをお手伝いをする事業所、というような意味合いで捉えています」

人それぞれ、色々な解釈ができる事業所名は、非常に面白い。

明るい事業所でのワクワクするワーク

「まず、スタッフ同士の仲が良いので、事務所に入ってきたときの空気が軽いのではないかと思います。そしてもちろん、スタッフと利用さんの仲

も良いですね。私自身、訓練と共に雑談などのコミュニケーションをとることも大切にしています。他者とストレスなく対話することこそが、就職後の職場定着につながっていくのではないかと思います」（杉本さん）

事業所の明るく楽しい雰囲気は伝わってくるが、グループワークも非常に魅力的だ。

「堺市には日本最大の古墳である仁徳天皇陵があります。ウォーキングイベントでは古墳をぐるりと回ってくることも。毎週土曜日をレクリエーションの日としていて、9月には『プリンづくり』『ボードゲーム大会』『保護犬カフェ』『ミニ四駆』などのイベントを予定しています」（佐古さん）

ミニ四駆は、誰もが知るモーターで走るミニチュアカーである。このイベントでは、子どものころにミニ四駆ブームを体験した40代以上の利用者さんが20代の利用者さんにマシンの組み立て方やチューニングの方法を教えるなど、世代を超えたコミュニケーションが生まれている。

デザインや生成AIについての講座も実施

「アニメの制作会社で働いていたスタッフがデザインソフトである『エクスペレス』や『フォトショッップ』、『イラストレーター』の講座を開いています。利用者さんにはデザインに興味のある方も多いため、人気のプログラムです」（佐古さん）

「話題のチャットGPTに関する講座も行いました。志望動機や自己PRを履歴書に書くさいの草案としてAIで生成した文章を活用する、といった内容です」（杉本さん）

メジャーなデザインソフトから話題の最新アプリまで、利用者さんの学びをしっかりと後押しする環境がある。実際に、「デザインに強い事業所」として関係機関から紹介されることもあるという。

見学・体験のお誘い

「ぜひ一度遊びにきてください。皆さまのお話をよく聞いて、最適なサポートをご提案いたします」（佐古さん）

「一緒に、新しいスタートラインに立ちませんか？ スタッフ一同でお待ちしております」（杉本さん）

しっかりと学べてしっかりと楽しんで、就労スキルが高まる。理想的な就労移行支援事業所像が、ここにはあった。

事業所お問合せ先情報

●ソース堺東

大阪府堺市堺区新町 3-7-6F
TEL : **072-225-1010**
(月曜から土曜 9時~18時)

●ソース三国ヶ丘

大阪府堺市堺区向陵中町 4-5-27-202
TEL : **072-242-8083**
(月曜から土曜 9時~18時)

<https://www.source1789.com/>



バリエーション豊かなメニューが自慢のソースのプログラム・イベント予定表。

プログラム・イベントの予定		9月				
月	火	水	木	金	土	
9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	
9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	
9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	
9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	
9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	

わたしたち！ 就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

体力向上とスキルアップであなたの未来を STEP UP!!

ア・ドマーニ久喜（埼玉県）



埼玉県久喜市久喜中央 1-1-7
セントラルヒルズ3F

◆TEL 0480-53-3892

◆E-MAIL kuki@adomani.me

<http://adomani.me/>

これが事業所の名物ワーク！

IT・WEBプログラム

実際にホームページを作成することができます。

体力UPプログラム

毎日行っている食後のストレッチとエアロバイクで体力強化。



障がいのある方へのメッセージ

未来への一歩を踏み出すために体調の安定は切っても切れません。その為にも運動は大変大切なものです。働くための体力、メンタルバランスを整える等とても重要です。ア・ドマーニ久喜では、就職に必要なスキルを身につけながら、体力を向上する事ができます。ア・ドマーニ久喜で現状を変える第一歩を踏み出してみませんか？

(カフェのように) ホットくつろげる場所

テイクハート我孫子（千葉県）



千葉県我孫子市本町 2-2-10
三共関東ビル 3F

◆TEL 04-7196-7035

◆E-MAIL info_chiba@takeheart.or.jp

<http://takeheart.or.jp/classroom/218/>

これが事業所の名物ワーク！

IMR<Illness Management and Recovery>

(疾病管理とリカバリー)

就労移行でもこの心理プログラムを行っているのは、テイクハート我孫子だけ！？



障がいのある方へのメッセージ

テイクハート我孫子は、陽当たりもよくとても明るい雰囲気の事業所です。利用者様同士の仲も大変良く、人見知りな方でもすぐ馴染んで笑顔になっていただけることが自慢です。その楽しい雰囲気をぜひ見に来てください！

一人一人の違いを、一人一人の生きがいに。

パレット銚子（千葉県）



千葉県銚子市松本町 1-993
サンキョウビル 1F

◆TEL 0479-21-7055

◆E-MAIL choshi@hisyo-work.com

<https://www.palette-chiba.jp/choshi/>

これが事業所の名物ワーク！

セルフケア講座

食生活から生活リズム、ストレスケアについて振り返りながら自己理解を深めていく人気プログラムです。



障がいのある方へのメッセージ

パレット銚子はとてもアットホームです。職員や利用者さんがお互いを尊重し合うことで、自分の良さに気づき、相手の良さに気づくことができます。相手と比べて焦ったり、自信をなくしたりするのではなく、すべて個性として、受け入れます。だから、あたたかい雰囲気が漂っているのです。

もう、ひとりでがんばらない。

エール近鉄八尾（大阪府）



大阪府八尾市東本町 3-6-10
たばこビル 3F

◆TEL 072-968-9673

◆E-MAIL info.ky@ailes-osaka.com

<https://risele.net/kintetsuyao/>

これが事業所の名物ワーク！

月1回のボードゲーム大会開催！

始まりは利用者様とスタッフからの提案から始まったイベントです♪みんなで協力したり対戦したり楽しむイベントとなっております(^)/



障がいのある方へのメッセージ

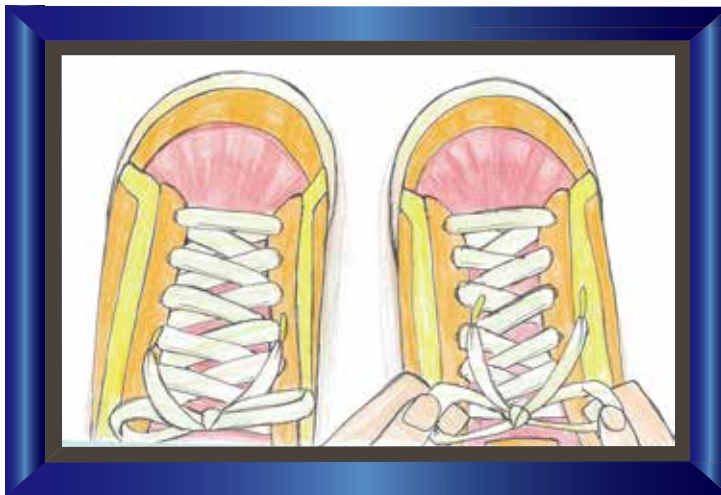
資格取得、PCスキルアップ、コミュニケーション力アップなど様々なプログラムであなたの就職を後押しします。就職実績・定着実績も豊富で、今通われているご利用者様も安心して通所されております。

第3回イコウ!イラストコンテスト結果発表

イコウ<2023年夏号>にてご案内した「第3回イコウ!イラストコンテスト」にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。
ここでは、読者の皆さまの素晴らしい作品の中から表彰作品について、紹介いたします。

<主催> 一般社団法人社会福祉支援研究機構

イコウ大賞



『いってきます』

Rさん
(フィン香椎駅前 / 福岡県)

表彰の言葉

「さあ今日もイコウ!と前に進む明るさと希望を感じるイラストです。靴ひもをしぼっているという自分視点の構図も非常に良いですね。ひもを「キュッ」としぼる手にも力を感じます。

審査委員長賞

『ねむる』

にびさん
(パレット西尾 / 愛知県)

表彰の言葉

にじみの技法が素晴らしいです。色の選択、組み合わせが美しく、優しい画面を作り上げています。とても良い夢を見ているのだろうと想像できますね。

<審査委員長> 飯名京美氏 (日本画、水墨画家)
<http://saibokudo.com/>



みんなの応募作品ギャラリー①



Amyさん
(ラフィオ熊谷)

オクラさん
(パスセンター東戸塚)



akinoさん
(ルミノーズ川崎登戸)

イトウさん
(アポーヨ富士)



みんなの応募作品ギャラリー②



磯美帆子さん
(アスミル大田原)

しぐさん
(エール近鉄八尾)



山田のタナカさん
(ティオ大牟田築町)



金子美希さん
(フォーム竹ノ塚)

※各受賞者には、各受賞作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。



デジタル部門賞

『らららふるーつぽんち』

MI さん
(テイクハート金町 / 東京都)

表彰の言葉

フルーティーさや清涼感をとても良く表現できています。半透明の処理を行った寒天も素晴らしいです。

優秀作品賞

『翔平とわたし』

Yasuko さん
(グッドライフパートナー福島駅前 / 福島県)

表彰の言葉

今をとときめくあの方と。とても良く特徴が捉えられています。目指せ、メジャーのホームラン王！



第3回『イコウ! 川柳コンテスト』のご案内

主催：SSO 一般社団法人社会福祉支援研究機構



- ※テーマ：あなたの好きなお題を、5・7・5の文字数で表現してください。
- ※賞および賞品：優秀賞（1名）／準優秀賞（3名）※受賞者には、作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。
- ※募集期間：2023年9月4日（月）～2023年11月18日（土）
- ※応募方法：作品にペンネームを添えて、ご利用の就労移行支援事業所（社会福祉支援研究機構加盟）にご提出ください。
※手書きデータのスキャンでも、テキストデータでも、どちらでも構いません。
- ※結果発表：『イコウ』次号＜2024年新春号＞の誌面にて受賞者を発表いたします。

※2023年11月4日13時～、ZOOMプログラム「繋がってるよ！笑顔になろうよ！」にて川柳講座が開催されます。

詳しくは、ご利用の就労移行支援事業所（社会福祉支援研究機構加盟）にお問い合わせください。

Person of employment support

就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

前厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課長

厚生労働省 福岡労働局長

小野寺徳子氏 Noriko Onodera



Profile

東京都出身、早稲田大学教育学部卒業。卒業後一年間の障がいの集団療育現場におけるボランティアを経て旧労働省入省。

主な経歴

平成2年：労働省入省

平成14年：山梨労働局職業安定部長

平成22年：埼玉労働局職業安定部長

平成27年：厚生労働省職業安定局総務課人道調査室長・ハローワークサービス推進室長

平成29年：独立行政法人労働政策研究・研修機構労働大学校准教授

平成30年：厚生労働省職業安定局総務課首席職業指導官

平成31年：厚生労働省大臣官房参事官（障害者雇用担当）

令和元年：厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課長

影響を受けた母親の考え

私は東京都目黒区に生まれ、実家は呉服屋でした。商売柄、人の出入りも多く、重度の障がいのある仕立て屋さんの息子さんや母が懇意にしていた方のダウン症の娘さんなどもよく遊びにきており、障がいのある人が身近にいる環境でした。

母親からは「健康な体と普通の頭があるんだから、社会の役に立つ人になりなさい」とよく言われており、「自分はこの世の中でどのような役割を果たしていくべきなんだろう？」と思案することもありました。

ボランティアを経て旧労働省入省

「人や社会の役に立てる仕事」に就きたいと考えて公務員を志すのですが、大学を卒業して一年間は学生時代にボランティアをしていた障がい児の親の会で引き続き指導員をしました。ちなみに、この会は実家によく遊びにきていたダウン症の娘さんのお母さんが中心になって作られた会であり、縁を感じました。

そこで出会った障がいを持ったお子さんたちが大人になった時に「働く」ことを通じて活躍できる場所をつくりたいと思い、障がい者雇用に取り組みもうと考え、旧労働省に入省しました。

障がいのある息子との歩み

29歳の時に息子が生まれたのですが、3歳か4歳になった頃、言葉の遅れに気づき、後に知的障がいと発達障がいがあると分かりました。当時は診断名など付かず、就学時健診

障がい者雇用に向き合うことが、皆が生きやすい共生社会に繋がる。

もクリア。小学校3年生まで普通学級に通うのですが、4年生になった時、肥満を理由に、健康面での課題に対応する全寮制の特別支援学級に入り、中学も同様に特別支援学級を経て、特別支援学校高等部に進みました。卒業後は埼玉県の特例子会社に就職。「仕事を通して人に感謝される喜びを知って欲しい」という私の想いもあつたと思います。

息子は特例子会社において2年ほどは元気に働いてくれていたのですが、社長が交代したことで運営方針が変わり、不安定になりました。母親としては会社の対応について思うところもありましたが、一方で行政官としての立場としては企業側の事情も理解でき、結果的に退職を選択しました。

その後は都内の就労継続支援B型事業所と就労移行支援事業所を経て、現在は北海道の就労移行支援事業所に入所しています。訓練自体は結構厳しいようですが、日々やりがいを感じながら頑張っているように思います。

福祉サービスに触れてみて

息子と共に福祉サービスや障がい者就労に触れてきたことで、本当に多くの気づきや学びがありました。例えば、どのサービスを利用するかを選択が難しいということ。情報に

乏しく、実際に事業所がどんな特長があつて、どんな支援等を行っているかが分かりづらいと思いました。良い事業者に巡り会えるかどうかで、結果も変わってくることでしよう。

雇用と福祉の連携も、まだまだ不十分だと思えます。また、雇用率の達成のみが目的化してしまうと、障がい者一人ひとりの活躍に繋がらない雇用になってしまうことも懸念されます。「数」だけでなく、雇用の「質」に着目すべきです。

障がい者雇用について思うこと

障がい者はその特性と仕事内容がマッチすると、我々では敵わないくらい力を発揮してくれます。雇用する企業の知恵の絞りどころだと思えます。もちろん、色々な失敗やつまづきがあることでしよう。しかし、そこで皆で知恵を出し合って、どうしたらその人を戦力化できるか、活躍し続けてもらえるかを考えていくプロセスがとても大事なことです。

障がい者雇用は、働くことに対して普段我々が感じている課題をディフォルメして、分かり易く伝えてくれます。ここにしっかりと向き合うことで、女性や高齢者、外国人、そして全ての人が働きやすい職場環境をつくるのが可能となり、皆が生きやすい社会＝共生社会に繋がっていくのではないかと思います。

❖題字の作者



1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティーなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみんなと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



機構加盟の就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可） / イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず） / 川柳 / 俳句 / 短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。

※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖

発行人：佐野敏夫 / 副発行人：両角康史 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也

TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す 「就労移行支援」

①一人でも多くの“一般就労”を実現

②最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③“一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計

令和5年3月31日時点

2,972名就職

資格合格実績累計

令和5年6月30日時点

11,120名合格

目指せる資格は70種類以上

<目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフェンシー検定協会)❖ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルキャリアリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接客検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座

★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

